

# 人類の出現と文明プリン ト

名前

問1 7世紀にアラビア半島のムハンマドが、唯一の神であるアッラーからの啓示を受けたとして開いた、神への絶対的な服従を説く宗教は何か、次の中から選びなさい。(2025年 千葉公立入試 類似)

1. イスラム教 2. キリスト教 3. 仏教 4. 儒教

問2 古代ギリシャの都市国家(ポリス)について、代表的な都市の組み合わせとして正しいものはどれですか。(2024年 和歌山公立入試 類似)

1. アテネ・スパルタ 2. ローマ・カルタゴ 3. 長安・洛陽 4. メンフィス・テーベ

問3 メソポタミア文明において、太陰暦や楔形文字といった文化が発達した地理的な背景として、適切な説明はどれですか。(2016年 大分県公立入試 類似)

1. チグリス川とユーフラテス川という二つの大河の恵みにより農業が発達し、収穫物の管理や記録の必要性が生じたため。  
2. ナイル川が毎年決まった時期に氾濫するため、その時期を正確に把握するための測量術や暦が必要となったため。  
3. インダス川流域のような計画的な都市構造を持たなかったため、個別の住宅で排水を管理する必要があったため。  
4. 広大な黄河流域において、天の意思を占うための記録媒体として粘土が最も入手しやすかったため。

問4 1492年に製作された現存する世界最古の地球儀には、当時のヨーロッパ人が存在を知らなかった南北アメリカ大陸が描かれていません。この大陸の南部に位置するアンデス山脈を中心に、16世紀前半にスペイン人に滅ぼされるまで独自の石造建築文化を築いた帝国を何と称しますか。(2026年 大阪公立入試 類似)

1. インカ帝国 2. アステカ文明 3. マヤ文明 4. インダス文明

問5 黄河や長江の流域で発展した古代の中国文明に関する説明として、最も適切なものはどれですか。(2019年 山形公立入試 類似)

1. 亀の甲羅や動物の骨に文字を刻む甲骨文字が使われ、現在の漢字の原型となった。  
2. 粘土板に楔形文字を刻み、天文学や六十進法などの高度な技術が発達した。  
3. パピルスという紙に神聖文字(ヒエログリフ)が書かれ、太陽暦が用いられた。  
4. 印章などに刻まれたインダス文字が使用され、レンガ造りの計画的な都市が築かれた。

問6 中国の黄河流域で発見された、亀の甲羅や牛の骨に複雑な形状の文字が刻まれた資料について、この文字を使用していた王朝とその背景の説明として最も適切なものはどれですか。(2020年 三重公立入試 類似)

1. 殷の時代に、王が政治の重要事項を占った結果などを記録するために使用された。  
2. 秦の時代に、始皇帝が文字を統一して全国で公式に使用するために定められた。  
3. 漢の時代に、儒教の教えを広く民衆に伝えるための石碑に刻むために作られた。  
4. 隋の時代に、科挙の試験を正確に実施するために標準化された書体として広まった。

問7 古代中国の王朝である殷(商)において、政治のあり方と文字の成り立ちについて述べた文として、最も適切なものを選びなさい。(2020年 岐阜公立入試 類似)

1. 亀の甲羅や牛の骨に占いの結果を刻む甲骨文字が使われ、それが漢字の原形となった。  
2. 木簡や竹簡に墨で文字を書く技術が広まり、律令に基づいた法治国家の基礎が築かれた。  
3. パピルスに記録された象形文字を用いて、ナイル川の氾濫を予測する天文学が発達した。  
4. 粘土板に刻まれた楔形文字を用いて、目には目を、歯には歯をで知られる法典が記された。

問8 18世紀後半から20世紀前半にかけてオーストラリアを統治し、メルボルンの街並みで見られるような石造りの建築物やキリスト教の教会といった、ヨーロッパの都市に見られるような景観を形成する要因となった国はどこですか。(2026年 奈良公立入試 類似)

1. イギリス 2. アメリカ合衆国 3. オランダ 4. ポルトガル

問9 ローマ教皇を頂点とするキリスト教の宗派で、中世ヨーロッパにおいて、教会の組織を通じて政治や人々の生活など、社会のあらゆる面に多大な影響力を及ぼした組織を何と称しますか。(2021年 徳島公立入試 類似)

1. カトリック 2. プロテスタント 3. 正教会 4. 仏教

問10 アフリカ州の多くの国で見られる、緯線や経線に沿った「直線的な国境線」について、その特徴を説明した記述として正しいものを次の中から選びなさい。(2021年 奈良公立入試 類似)

1. 植民地時代の支配国が、現地の合意を得ることなく地図上で便宜的に引いた境界線に基づいている。  
2. 自然国境と呼ばれ、大規模な農地開発を行うために地形に合わせて人工的に整えられたものである。  
3. アフリカ諸国が独立する際、民族紛争を避けるために伝統的な居住区を尊重して引いた線である。  
4. レアメタルなどの地下資源が地層に沿って直線状に埋蔵されているため、その分布に合わせて引かれた。

問11 日本の弥生時代の様子を伝える中国の歴史書には、日本に多くの小国があったことが記されています。この時期に中国から西アジア、さらには地中海地域へと広がり、東西の文化交流を支えた交通路について述べた文として、最も適切なものはどれですか。(2024年 徳島公立入試 類似)

1. 中国と西欧諸国を結び、絹や西方からの工芸品などが取引される東西交流の重要なルートとなった  
2. 北方からの遊牧民族の侵入を防ぐために築かれた軍事的な防壁であり、交易には使用されなかった  
3. 日本と東南アジアを直接結ぶ唯一の海上交易路として、弥生土器の輸出を支えた  
4. 江戸時代に整備された五街道のひとつであり、内陸の物資輸送の拠点となった

問12 西アジアを流れるチグリス川とユーフラテス川の流域で栄えたメソポタミア文明において、粘土で作られた板に、尖った棒のようなもので刻み込まれた文字を何と称しますか。(2024年 佐賀公立入試 類似)

1. くさび形文字 2. 象形文字(ヒエログリフ) 3. 甲骨文字 4. フェニキア文字

問13 インド北西部の遺跡から、建物や水路が計画的に配置された都市の跡が発見されている文明について、その文化的な特徴を説明したものと正しいものはどれですか。(2024年 滋賀公立入試 類似)

1. 象牙や石で作られた印章に文字が刻まれているが、現在も解読されていない。  
2. ナイル川の氾濫を予測するために太陽暦が作られ、象形文字が使用された。  
3. くさび形文字を粘土板に刻み、太陰暦や六十進法が考案された。  
4. 亀の甲羅や動物の骨に、漢字の原型となる甲骨文字が刻まれた。

## 答え合わせ・解説

問1	答え 1 イスラム教	ムハンマドがメッカで開いたこの宗教は、唯一神アッラーを信仰し、その教えは聖典「コーラン」にまとめられています。ムスリムと呼ばれる信者は、礼拝や断食など、生活全般において神への服従を実践することを重んじます。
問2	答え 1 アテネ・スパルタ	古代ギリシャには数百のポリスが存在していましたが、その中でも民主政を発達させたアテネと、強力な軍事教育で知られたスパルタは、ギリシャ世界を代表する二大ポリスとして歴史上重要な役割を果たしました。
問3	答え 1 チグリス川とユーフラテス川という二つの大河の恵みにより農業が発達し、収穫物の管理や記録の必要性が生じたため。	農業の発達により集団生活が大規模化すると、神殿での貢納品の管理や商業取引の記録が必要になりました。そこで身近にあった粘土を利用して楔形文字が刻まれ、農業に不可欠な時期の把握のために暦が発達しました。ナイル川の氾濫はエジプト文明、計画的な都市構造はインダス文明、占いによる記録は中国文明の文脈です。
問4	答え 1 インカ帝国	南アメリカ大陸のアンデス山脈沿いに広まったこの帝国は、文字を持たない代わりに「キープ」と呼ばれる紐の結び目で情報を記録し、マチュピチュのような高地都市や精巧な石造建築を発達させました。1492年の地球儀に描かれていないのは、コロンブスの到達以前でヨーロッパにその存在が知られていなかったためですが、16世紀にピサロ率いるスペイン人によって征服されました。
問5	答え 1 亀の甲羅や動物の骨に文字を刻む甲骨文字が使われ、現在の漢字の原型となった。	中国文明では、紀元前16世紀頃の殷（商）の時代に、占いの結果などを記録するために「甲骨文字」が使用されました。これがのちに私たちが使用している漢字のルーツとなりました。他の選択肢はそれぞれ、メソポタミア文明、エジプト文明、インダス文明の特徴を説明したものです。
問6	答え 1 殷の時代に、王が政治の重要事項を占った結果などを記録するために使用された。	殷の王は、祭祀や戦争、農作物の収穫などの重要事項を、亀の甲羅や牛の骨を焼いたときに入る「ひび」の形で占っていました。その占いの内容や結果を刻んだものが甲骨文字であり、当時の政治が宗教的な権威に基づいていたことを示しています。
問7	答え 1 亀の甲羅や牛の骨に占いの結果を刻む甲骨文字が使われ、それが漢字の原形となった。	殷の時代は、王が占いによって国政の重要事項を決定する神権政治が行われていました。その占いの道具として亀の甲羅や動物の骨が使われ、そこに刻まれた「甲骨文字」が現在の漢字のルーツとなりました。他の選択肢は、エジプト文明やメソポタミア文明、あるいは後の時代の中国の制度に関する説明です。
問8	答え 1 イギリス	オーストラリアは18世紀後半からイギリスの植民地となり、入植が進められました。その過程で、宗主国であるイギリスを中心としたヨーロッパの文化や建築技術が持ち込まれたため、現在もメルボルンなどの都市部には重厚な石造りの建物や教会が数多く残されています。
問9	答え 1 カトリック	中世ヨーロッパでは、ローマ教皇を首長とするカトリック教会が精神的な支えとしてだけでなく、政治的にも大きな権威を持っていました。これに対し、16世紀の宗教改革以降に誕生した宗派をプロテスタント、ビザンツ帝国を中心に発展した宗派を正教会と呼び、区別されます。
問10	答え 1 植民地時代の支配国が、現地の合意を得ることなく地図上で便宜的に引いた境界線に基づいている。	アフリカの国境線の多くは、かつての植民地支配時代にヨーロッパの列強諸国が引いた境界線をそのまま引き継いでいます。これを「数理的境界」とも呼びます。現地の民族分布や歴史的経緯を無視して一方的に境界が定められたため、本来は一つのまとまりであった民族が複数の国に分断されるといった事態を招きました。これが現代においても、特定の民族が住む地域に埋蔵されるレアメタルなどの資源争奪戦と結びつき、深刻な対立を引き起こす背景となっています。
問11	答え 1 中国と西欧諸国を結び、絹や西方からの工芸品などが取引される東西交流の重要なルートとなった	弥生時代の日本が中国の王朝と関係を持ち始めた頃、大陸では漢によって西アジアまで至る「シルクロード」が確立されていました。この道は単なる商業ルートではなく、仏教などの宗教や西方の文化が東方に伝わる文化の架け橋としての役割を果たしました。選択肢にある軍事的な防壁は万里の長城を指します。
問12	答え 1 くさび形文字	現在のイラク付近にあたるチグリス川・ユーフラテス川流域では、紀元前3000年ごろからメソポタミア文明が発展しました。この地域では河川から得られる粘土が豊富であったため、乾燥させる前の粘土板に、葦（あし）の茎などを押し当てて鋭い線を組み合わせた「くさび形文字」を刻んで記録を残しました。エジプト文明の象形文字や中国の甲骨文字と並び、古代文明を象徴する文字の一つです。
問13	答え 1 象牙や石で作られた印章に文字が刻まれているが、現在も解読されていない。	インダス文明では、独自のインダス文字が使用されていましたが、他の文明の文字との比較研究が進んでいないため、未だに解読されていません。選択肢にある他の特徴は、エジプト、メソポタミア、中国の各文明のものです。